

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名（ 株式会社K－POWER ）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合こちらには理由 記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																	
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 （必須）			性別・年齢・障がい・国籍・出身等による差別を禁止する方針を就業規則に明記し、採用・配置・昇進・教育・福利厚生などあらゆる雇用条件で差別しない体制を構築。経営トップが積極的に関与し、相談窓口を設置して						5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 （必須）			セクハラ・パワハラ・マタハラ等の防止方針を就業規則に明記し全社員へ周知。相談窓口を設置し、ハラスメント防止研修を実施している。						5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 （必須）			労働基準法等の改正内容を経営者を含め共有し、勤怠管理により労働時間を把握。長時間労働は正のため工程・人員配置の見直しと多様な勤務体制の整備に取り組んでいる。									8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 （必須）			外国人技能実習生等の外国人労働者に対し適切な処遇と労働環境を整備し、差別・人権侵害がないことを確認。定期的な面談・意見交換の機会を設けている。				4.4					8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 （必須）			解体・土木の作業現場における事故防止のため、KY活動・安全パトロール・社員向け労働安全衛生講習会を定期的の実施し、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。			3						8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 （必須）			労働者のメンタルヘルス維持のため、ストレスチェックの実施と相談体制を整備し、メンタルヘルスに対応した休職規程等を整備している。			3															
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 （必須）			女性・外国人・高齢者など多様な人材が活躍できる職場づくりを推進し、職務や役割に応じて活躍できる場を設けている。					5.1 5.5				8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 （必須）			職務や役割に応じた研修体系を整備し、解体施工技士・建設機械運転等の資格取得を支援。OJTと外部研修により従業員の能力開発に取り組んでいる。				4	5.5				8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 （必須）			パート・有期雇用労働法、労働契約法等の改正内容を理解し、雇用形態にかかわらず同一労働同一賃金の原則に沿った待遇の整備・対応を行っている。					5.5				8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			自社運営の温浴・サウナ・ジム複合施設「UUueda」を従業員が利用できる制度を設け、心身のリフレッシュと健康増進に取り組んでいる。			3						8									
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 （必須）			解体・土木工事で発生する廃棄物の種類・量を把握して管理台帳を整備し、産業廃棄物収集運搬業・処分業許可に基づきマニフェストにより適正に処理している。												11.6	12		14.1			
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 （必須）			重機の燃料、車両、事務所および運営施設の電気・ガス使用量を集計し、年1回エネルギー使用量・温室効果ガス排出量の算定を行っている。								7.3					13					
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 （必須）			年1回の温室効果ガス排出量の算定に基づき削減計画を策定。重機・車両のアイドリングストップ、低燃費機械の導入、LED化等により排出抑制に取り組んでいる。								7.2 7.3					12.4	13.3				
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 （必須）	【非該当】		自社の事業活動において法令で規制される有害化学物質を製造・使用していないため非該当。なお解体工事で生じる石綿（アスベスト）等は法令に基づき有資格者が適正に調査・除去・処分している。			3.9			6.3						11.6	12.4					

項目 番号	カ テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由 記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
15	環 境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 (必須)			工事に伴う騒音・振動・粉じん・濁水対策を徹底し、周辺の生態系・生活環境への負の影響を抑制。事業の生物多様性への影響を把握し低減に努めている。						6.6									15			
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 (必須)			コンクリート・鉄・木材・アスファルト等の建設副産物を分別解体(エコ解体)により分別し、再資源化施設で再生砕石・再生材としてリサイクル。リデュース・リユース・リサイクルを推進している。											13		14.1					
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			UUuedaでは天然地下水を活用し、ろ過・循環設備により水資源の利用状況を管理し、利用効率の改善に取り組んでいる。						6.4 6.6												
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ (任意)		【予定】	エコアクション21等の環境マネジメント規格の取得を検討している(令和8年度を目標)。			3.9			6	7					12	13.3	14	15			
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ (任意)			自社ホームページにおいて、リサイクル・エコ解体・産業廃棄物の適正処理等の環境への取組を公開している。												12.6						
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ (任意)		【予定】	事務所・施設への太陽光発電設備の導入を検討している。							7.2						13					
21	公 正 な 事 業 慣 行	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			再生砕石等の再生資材の利用を優先し、天然資源の使用抑制に配慮した調達に取り組んでいる。												12.2	13	14	15			
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			汚職・贈収賄の禁止を含む行動規範を整備し、全社員へ周知して社内浸透を図っている。																16 16.5		
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			建設業法・独占禁止法等を遵守し、不正競争行為に関与しない方針を行動規範に定め、社員に周知している。																16		
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本 (必須)			他社の知的財産権・商標等を侵害しない方針を社内でも共有し、自社の商号・ブランド(UUueda等)の適切な管理・保護に取り組んでいる。								8.2 8.3	9									
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本 (必須)			「個人情報保護方針」を定めて公表し、顧客・従業員の個人情報を適切に管理する体制を整備。社内で情報管理ルールを周知している。																	16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ (任意)																					16
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			協力会社・取引先と、安全・法令遵守・人権配慮・適正な廃棄物処理について認識を共有し、共に取り組んでいる。					5		8		10		12	13	14	15	16	17		
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト： https://www.biz-partnership.jp/	基本 (必須)		【予定】	「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表する予定(令和8年中)。			3					8	9	10								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定